

『罪を犯した障害者・高齢者等の包括的支援に向けて』

刑務所や少年院などの矯正施設に収容される人の中に福祉サービスを必要とする高齢者・障害のある人が存在していることが明らかになり、地域生活定着支援センターが開所してから10年が経とうとしています。地域包括ケアシステムの中で、矯正施設を退所して直ちに「住まい」「医療」「福祉サービス」を必要とする高齢者・障害のある人を、どのように支援をしていけばよいのか？ご参加の皆様と一緒に考えましょう。

1日目 2018.12.18 13:00～17:10
受付開始 12:00～

基調講演

「罪に問われた障がい者・高齢者の
実情と今後の課題」

講師：野沢和弘氏

会場：つくば国際会議場1F

多目的ホール（定員200名）

※参加費無料

情報交換会 18:00～20:00

会場：つくば国際会議場1F

レストラン エスポワール

※会費5,000円（当日、受付にてお支払下さい）



【講師】

毎日新聞社論説委員
野沢 和弘 氏

野沢 和弘（のざわ かずひろ）氏

1983年、毎日新聞社入社。社会部でいじめ、ひきこもり、児童虐待などを担当。夕刊編集部長を経て、現職。

社会保障審議会障害部会委員、植草学園大学客員教授、東京大学非常勤講師、上智大学非常勤講師等を歴任。

2日目 2018.12.19 9:30～12:00
受付開始 9:00～

『分科会』 ※参加費無料

第1分科会「当事者の語りから学ぶ」

対象者の語りの中から、福祉の支援者としての関わり方を学びます。

【コーディネーター】

千葉県地域生活定着支援センター
センター長 岸 恵子 氏

会場：つくば国際会議場1F

大会議室101

第2分科会「機関連携のアプローチと 各支援者の思い」

地域の関係機関のそれぞれの役割を活かした支援のあり方について学びます。

【コーディネーター】

栃木県地域生活定着支援センター
センター長 青木 康夫 氏

会場：つくば国際会議場1F

大会議室102

FAX 0280-97-2110

E-mail iba-teichaku@houkoukai.or.jp

全国地域生活定着支援センター協議会関東・甲信越ブロック研修会申込書

都道府県名 _____ 所属機関名 _____
連絡先（電話） _____ ※日中連絡がつく電話番号をご記入ください。

氏名(ふりがな)	職種	1日目		2日目	
		講演会	情報交換会	第1分科会	第2分科会

参加申し込みの締め切りは2018年11月30日(金)となります

※ご記入いただいた内容は研修の事務にのみ使用させていただきます。
※名簿にお名前を乗せたくない方は下記にチェックをお願いいたします。
 名簿に名前を記載しない

会場案内



住所：茨城県つくば市竹園2丁目20番3号
【最寄駅】
TX「つくば駅」より徒歩10分
【お車でお越しの場合】
常磐自動車道「桜土浦IC」又は圏央道「つくば牛久IC」から約15分



お問い合わせ

茨城県地域生活定着支援センター
電話：0280-97-2100 FAX：0280-97-2110